



伊國先づ火蓋を切る

伯利西爾時報
(本紙一週二回發行
電話七四六七〇
料金一ヶ月一拾六ミル
壹年參拾ミル)

聖市フアグンタス
新街二八「郵局」
行

伊工開戦の赤のシグナル

狂熱のマーロ

ムツ首相既定方針敢行

【羅馬二日】最後國務會議の結果重大決意を堅めて、聯盟の雲行きを觀望してゐたムツ首相は遂に理事會の票決を俟たず、けふ午後三時半國家總動員令を布告した。二日未明から豪雨に洗はれてゐたローマ市は動員令が下ると同時に各寺院の梵鐘、大太鼓が一齊に鳴り亘つてこれを知らせ、一方全放送局がラヂオを以つて伊太利の全國民に之を傳へた。

警官はローマ市の各公館、駐劄外國公館の警備に就き、市内の商店工場は一齊に閉止して市民は豫告された場所に集合するため雨を衝いて街上を右往左往し、各所に据へ付けられたラウド・スピーカーは愛國の熱情をそよる軍歌、演説を放送、黒襪衣青青年は自動車、自轉車で市中を疾駆、空には飛行機が亂舞し市内は一瞬にして一九二二年十月黒龍黨のローマ入り以上の熱狂振りで第一次動員令が実行され五萬は直ちに東阿の戰線へ向けられた、尙動員總數は一千萬人と稱せられ、有史以來未聞のもので、一般に此の動員は即ち東阿の戰線に於ける總攻撃開始のシグナルと見てゐる。

伊軍南下攻撃開始

【羅馬三日】エ國より聯盟へ

北方エリトリア(伊領)近く

の報道に依れば、伊太利軍はアドゥア市を爆撃し、多數の犠牲者を輩出した。一方U.P.記者がアスマラから發した報道によれば、待機の姿勢を破った伊太利軍は遂に前進を開始し、けふからアドゥア市へ向けて進發してゐる、尙此の報道によれば、待機の姿勢を破った伊太利軍はアドゥア市を爆撃し、多數の犠牲者を輩出した。

【U.P.】から羅馬宛に報道されて居り、エリトリア國境に待機してゐた伊太利軍が總動員令と共に攻撃開始に移つたことは確實と見られる。

【羅馬三日】伊軍のアドゥア市への進發に先立つて、伊國爆撃は早くも二日アドゥア市を爆撃、多数の犠牲者を出したが死傷者の中には市民が多く殊に婦人子供が大部を占めてゐたと報告される。

行動開始を

聯盟へ通告

【羅馬三日】伊太利軍はアドゥア市を爆撃してゐるが、尙此の報道によれば、待機の姿勢を破つた伊太利軍はアドゥア市へ向けて進發してゐる、尙此の報道によれば、待機の姿勢を破つた伊太利軍はアドゥア市を爆撃し、多數の犠牲者を輩出した。

【U.P.】から羅馬宛に報道されて居り、エリトリア國境に待機してゐた伊太利軍が總動員令と共に攻撃開始に移つたことは確實と見られる。

【羅馬三日】伊太利政府は伊太利軍に從軍する記者に、伊太利の總動員令と共に攻撃開始を通告した。伊太利の總動員令と共に攻撃開始を通告した。

【羅馬三日】伊太利政府は伊太利軍に從軍する記者に、伊太利の總動員令と共に攻撃開始を通告した。

<

